

月 19:30 - 21:30

火 19:30 - 21:30

水 19:30 - 21:30

「表現者のための
プレゼンテーション研究所」
中谷日出

① 9/12 ② 9/19 ③ 9/26 ④ 10/3
⑤ 10/10 ⑥ 10/17 ⑦ 10/24 ⑧ 10/31



アーティスト(表現者)の
ためのブランディング、
そして自身が社会とコ
ミュニケーションするた
めのプレゼンテーショ
ンの方法。また、モノ
をわかりやすく説明す
るための方策を参加者
のニーズに沿って伝授する。

なかや・ひで | NHK解説委員(芸術・文化、デジ
タル関連担当)。神奈川県生まれ。東京芸術大
学大学院 美術研究科修了。広告プランニング、
広告映像アートディレクターとしてフリーで活動後、
平成3年NHKへ第1期キャリア採用で入局後、
1994年~MIT(マサチューセッツ工科大学)派
遣、その後、NHKスペシャル「人体・脳と心」の
アートディレクション、NHKロゴマークデザイン、
長野オリンピック国際発信公式映像 映像監督、ド
ラマ「DREAM TV 200X」監督などに携わる。
1999年6月NHK解説委員(芸術文化、デジ
タル関連担当)に就任。2000年3月~デジスタ
ナビゲーターを務め、現在にいたる。Gマーク(グ
ッドデザイン賞)の審査委員などにも取り組む。また、
アートとテクノロジーの融合を目的としたWEB TV
「木曜新美術館」館長も務める。

「Photographic dialogue」

① 9/6 ② 9/20 ③ 9/27 ④ 10/4
⑤ 10/11 ⑥ 10/18 ⑦ 10/25 ⑧ 11/1

最前線を走る写真家によるリレー実践講座。各講師による座
学+課題作品の講評会、このセットが4クール繰り返される。

檜橋朝子 9/6、10/4

写真を並べて講評、セレクトし
順番を決めタイトルを考え、最
最終的に各自8ページから32ペ
ージ程度の冊子の作成を目指す。
ならはし・あさこ | 写真家。東京生
まれ。国内外での個展、企画展多
数。写真集に「NU・E」「half awake
and half asleep in the water」「Ever
After」など。近著に「近づいて
は遠ざかる 1985/2015<ベトナムの
場合>」がある。

宮本隆司 9/27、10/25

「見るためには何が必要か」テ
ーマや課題は設定しない。それぞ
れの写真表現を実現するためには
何が必要なのか、共に考え話し
合いながら作品制作のアドバイ
スをしたいと思います。各自作品
ポートフォリオ持参のこと。

鈴木理策 9/20、10/18

撮影時に表れる身体的個性を
発表の時点につなぐ方法を二
段階で考えます。

写真のための二つの仕事

1:写真を撮る。2:撮った写真
を選んで構成する。

すずき・りさく | 1963年和歌山県新
宮市生まれ。2000年『PILES OF
TIME』で第25回木村伊兵衛写
真賞受賞。近著に『意識の流れ』
(edition nord)、『海と山のあいだ』
(amanasalto)、『Atelier of Cézanne』
(Nazraeli Press)、『White』(edition
nord)、『写真分離派宣言』(青幻舎・
共著)等。

みやもと・りゅうじ | 1947年、東京生
まれ。「建築の黙示録」「九龍城砦」
「Cardboard Houses」「Angkor」「Kobe
1995 After the Earthquake」「ピンホ
ールの家」などの作品があり、廃墟の写真
家として知られる。第14回木村伊兵衛
写真賞、第6回ヴェネチアビエンナーレ
建築展金獅子賞、第55回芸術選奨文
部科学大臣賞受賞。

鷹野隆大 10/11、11/1

「性はプライベートな問題か?」を
起点に、いろいろな話をしたいと
思います。それを写真で表現する
ことの可能性も、できれば少し。
たかの・りゅうだい | 1963年生まれ。
2006年セクシュアリティをテーマにした写
真集「IN MY ROOM」で第31回木村
伊兵衛写真賞。2011年には日本特有
の街並みを集めた写真集「カスババ」を
発表。性や都市を題材にしながら、制度
化された視覚の外側を模索している。

「境界線上の美術」
堀 浩哉

① 9/14 ② 9/21 ③ 9/28 ④ 10/5
⑤ 10/12 ⑥ 10/19 ⑦ 10/26 ⑧ 11/2



今、アートに何ができる
のか。

今、というのは3.11福
島の原発事故以降の現
在という意味だが、あ
れ以降は世界のあらゆる
価値観が大きく変動
した。アートもまた、当
然それとは無縁ではありえない。そんな今
のアートをどう読み解けばいいのか。そし
てアートに何ができるのか。それを「境界
線上の美術」という視点から探っていきたい。
(作家志望の受講者に対しては、作品
講評も行います)

ほり・こうさい | 1947年富山県高岡市生まれ、67
年多摩美術大学入学、69年「美共闘」(美術
家共闘会議)を結成、70年同大学中退。02年
から多摩美術大学美術学部絵画学科教授、14
年名誉教授。70年代は東京の田村画廊、真
木画廊で、80年代以降はギャラリー山口、村松
画廊、ギャラリー上田、他を中心に活発に活動。
1991年、国立国際美術館で個展。国際展には、
77年パリビエンナーレ、84年ベニスビエンナー
レ、03、06年越後妻有アートトリエンナーレに招
聘されている。2016年は、釜山ビエンナーレ、
GALLERY604(釜山)での発表が続く。

木 19:30 - 21:30

金 or 土 or 日 19:30 - 21:30

「横浜建築家列伝 Vol.3」

磯 達雄 + 五十嵐 太郎

① 9/15 ② 9/29 ③ 10/6 ④ 10/13
⑤ 10/20 ⑥ 10/27 ⑦ 11/3 ⑧ 11/10



この講座は、先
進的な都市空間
であり続ける横浜
が、どんな建築
家によって築かれ
てきたのか、その歴史と将来を考えるインタビュー・シ
リーズの第3弾です。

9/15 磯 達雄 (これまでのまとめと今回の予習)

9/29 長島孝一 (横浜の都市デザイン、金沢地区などについて)

10/6 北村脩一 (坂倉準三と横浜)

10/13 中田準一 (前川國男と横浜)

10/20 高橋志保彦 (横浜馬車道計画、横浜開港広場、
帷子川プロムナードなどについて)

10/27 高橋一平 (横浜国立大学中央広場について)

11/3 鎌田友介・加藤直樹 (シェアスタジオ旧劇場について)

11/10 宮 晶子 (黄金町高架下新スタジオなどについて)

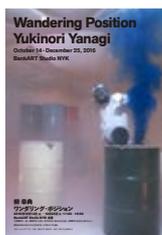
※ゲストは都合により変更になることがあります

いがらし・たろう | 建築史、建築批評家。1967年パリ生まれ。
東北大学教授。主な著書に『被災地を歩きながら考えたこ
と』(みすず書房)『現代建築に関する16章』(講談社)な
どがある。

いそ・たつお | 建築ジャーナリスト。1963年埼玉県生まれ。
1988~99年『日経アーキテクチャ』編集部。2000年~
ブリックスタジオ共同主宰。共著書に『昭和モダン建築巡
礼』(日経BP社)、『日本遺産巡礼』(同)などがある。

「Dialog- 柳 幸典との対話」

「柳 幸典〜ワンダリング・ボジ
ション」展(BankART Studio
NYK全館、10月14日~12月25
日)の関連事業。各回ともゲス
トを招いてのゼミになります。
スクール枠で20名募集、単発受
講(2,500円/回)は要予約。



9/9 [金] 「柳 幸典について語る」

北川フラム(瀬戸内国際芸術祭総合ディレクター)

10/8 [土] 「広島と柳 幸典」

出原 均(兵庫県立美術館学芸員)

10/16 [日] 「国際の中の柳 幸典」

建島 哲(多摩美術大学学長)

逢坂恵理子(横浜美術館館長)

10/22 [土] 「戦争と美術」

石内 都(写真家) + 原口典之(美術家)

10/23 [日] 「新しい世代は柳幸典から何を学ぶか」

岩崎貴宏(美術家)、水口鉄人(美術家)、

諫山元貴(美術家)、今井みはる(アートギャラリー

ミヤウチ学芸員)、大橋実咲(ARTBASE百島コー

ディネータ)

10/29 [土] 「百島と尾道を巡って」榎原 徹(工学院大学准

教授)、八木健太郎(広島大学准教授)、

中尾浩治(テルモ生命科学芸術財団理事)

11/11 [金] 「群島へ」今福龍太(文化人類学)

11/18 [金] 「ノマド世代の共闘」田中功起(美術家)

お申し込み方法

①受講したい講座名 ②お名前 ③ご住所
④電話番号 ⑤メールアドレスを、メール・
FAX・電話のいずれかにてお知らせくださ
い。その際に受講料の振込先をお知らせい
たします。

1講座15,000円(税込)。はじめての方は入学
金3,000円(税込)も一緒にお支払いいた
だきます。入金を確認でき次第、手続き完了と
なります。一旦納入された受講料は返金で
きませんのでご了承ください。

※講座によっては別途材料費や資料代がかかる場合
があります。※申し込み受付は定員になり次第、終了
させていただきます。

スクール受講生の特典 受講生には学生証を発行
します。また、BankART ショップでの買物が
5% 割引、BankART パブおよびカフェの1,000
円チケットが10% 割引となります。

お申し込み・お問い合わせ

BankARTスクール事務局

school@bankart1929.com

TEL 045-663-2812 FAX 045-663-2813

アクセス

BankART Studio NYK

〒231-0002 横浜市中区海岸通3-9

横浜みなとみらい線「馬車道駅」6出口[赤レン
ガ倉庫口]徒歩4分